

店舗カメラと制服警備

工業会 日本万引防止システム協会

ティ協会が万引防止シス
 S、稲本義典以下J E A
 10月15日(水)15時~17時
 に「店舗のカメラ設置
 標準例」と「店舗の制
 服警備」(立哨・巡回・
 接遇)に関するウェ
 ビナー(オンライン上
 で開催するセミナー)
 を開催した。
 この2年間で大量窃
 盗を含む万引犯罪の件
 数が増加と転じており
 数、この対策として
 ネットワークカメラの
 急速な技術進化や新た
 なソリューションが生
 まれている。
 1月のN R F(米国
 小売業協会のイベン
 トでは、小売店を5つ
 のエリアに分けた防犯
 ポイントを定義し管理
 する手法が発表され
 た。
 それらの最新情報に
 基づいて、警備のハ
 ンドルの管理ポイン
 トの手法を加えた総合
 な店舗のロス削減と防
 犯対策について、各専
 門分野の職業専門家か
 らの解説が実施され
 た。
 今回はセミナー2の
 「店舗の制服警備」(立
 哨・巡回・接遇)を
 実施した模様をお伝え
 する。
 講師はJ E A S副会
 長・科学保安講習プロ
 ジェクト総括指導・セ
 フトED(代表取締役)
 社長・山根久和氏とJ
 E A S科学保安講習プ
 ロジェクター・デー
 ロス対策テクニスト執
 導役・松本安代表
 取締役社長・青柳秀夫
 氏。
 マナセセミナーでは
 「制服店内保安警備」
 導入例と「制服・私服
 警備」配置について解
 説した。

① 腕章・導入事例 ② 私服・導入事例 ③ 暴行事案…遅延した腹を立てスタッフに暴行 ④ 付きまとい…勤務中のスタッフに付きまとう ⑤ ストーカー…特定スタッフの退勤待ち伏せ ⑥ 放火…店内商品に火を放たれる ⑦ 異物混入…商品に針を混入する ⑧ 威力業務妨害…大声でスタッフを脅す ⑨ 2カスダメハラスメント…執拗な苦情 ⑩ 万引…棚卸すると帳票と実在庫が合わない ⑪ 大量盗難…運統被害…転売目的の被害発生 ⑫ 熊の出没警戒など	① 店舗へ侵入受渡事例 ② 「制服警備」と「私服警備」の活用方法 見せる警備と覆面警備の目的と目標 ③ 制服警備…出入口立哨と店内巡回、再犯防止 ④ 制服警備…出入口立哨と店内巡回、接客防犯 ⑤ 制服警備…退勤時従業員入口立哨警戒…牽制 ⑥ 制服警備…出入口立哨と店内巡回、警戒監視 ⑦ 制服警備…出入口立哨と店内巡回、再犯防止 ⑧ 制服警備…出入口立哨と店内巡回、警戒監視 ⑨ 制服警備…万引常習犯…現行犯逮捕、再犯防止
--	---

法 ① 同一商品複数点持ち移動は要警戒…接客連携 ② 同一商品複数点持ち移動は要警戒…接客連携	① 休憩など店内から離れた際にスタッフと対応 ② ロス値の高い先場所…重点警戒対象実施 ③ 被害多発売場…定期的な巡回…警戒	① 店舗出入口に立哨警戒…転売犯人の入店室制 ② 店舗出入口に立哨警戒…転売犯人の入店室制 ③ 被害多発売場…定期的な巡回…立哨警戒 ④ ロス値の高い店舗を選定…方針慣習犯が多い	① 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行 ② 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行 ③ 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行	① 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行 ② 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行 ③ 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行	① 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行 ② 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行 ③ 連続盗難被害発生…商品の転売目的による犯行
--	---	---	--	--	--

⑥口入値の高い売場を巡回警戒・万引犯警を警戒 ⑦の私服警備・万引犯行現認、現行犯逮捕法など、警察と連携した対応、警戒通報・引渡し ⑧警備会社選定」のポイント 警備業務毎に教育が義務化している。 ⑨の再認識・と業務区分」の再認識・と人命・身体・財産をする。 1号・施設警備 ⑩施設警備・出入管理 ⑪巡回警備・常駐せず車内などで巡回 ⑫保安警備・店舗の安全安心を保つ約14%の警備会社が実施している 2号・交通誘導・雑踏警備 約80%以上が交通・雑踏警備の警備会社	④身辺警護サービスカード ⑤「警備業務」の契約・事例説明 ⑥契約前書面（重要書類） ⑦警備法上の必要書類 ⑧契約書 ⑨警備業務に対する責任負担 ⑩警備計画書 ⑪巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ⑫再委託承諾書 他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ⑬契約後書面（重要書類） ⑭警備法上の必要書類 ⑮契約書 ⑯契約期間・期間・苦付対応など ⑰警備業務に対する責任負担 ⑱警備計画書 ⑲巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ⑳再委託承諾書 ㉑他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㉒契約後書面（重要書類） ㉓警備法上の必要書類 ㉔契約書 ㉕契約期間・期間・苦付対応など ㉖警備業務に対する責任負担 ㉗警備計画書 ㉘巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㉙再委託承諾書 ㉚他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㉛契約後書面（重要書類） ㉜警備法上の必要書類 ㉝契約書 ㉞契約期間・期間・苦付対応など ㉟警備業務に対する責任負担 ㊱警備計画書 ㊲巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㊳再委託承諾書 ㊴他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㊵契約後書面（重要書類） ㊶警備法上の必要書類 ㊷契約書 ㊸契約期間・期間・苦付対応など ㊹警備業務に対する責任負担 ㊺警備計画書 ㊻巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㊼再委託承諾書 ㊽他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㊾契約後書面（重要書類） ㊿警備法上の必要書類	④身辺警護サービスカード ⑤「警備業務」の契約・事例説明 ⑥契約前書面（重要書類） ⑦警備法上の必要書類 ⑧契約書 ⑨警備業務に対する責任負担 ⑩警備計画書 ⑪巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ⑫再委託承諾書 他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ⑬契約後書面（重要書類） ⑭警備法上の必要書類 ⑮契約書 ⑯契約期間・期間・苦付対応など ⑰警備業務に対する責任負担 ⑱警備計画書 ⑲巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ⑳再委託承諾書 ㉑他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㉒契約後書面（重要書類） ㉓警備法上の必要書類 ㉔契約書 ㉕契約期間・期間・苦付対応など ㉖警備業務に対する責任負担 ㉗警備計画書 ㉘巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㉙再委託承諾書 ㉚他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㉛契約後書面（重要書類） ㉜警備法上の必要書類 ㉝契約書 ㉞契約期間・期間・苦付対応など ㉟警備業務に対する責任負担 ㊱警備計画書 ㊲巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㊳再委託承諾書 ㊴他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㊵契約後書面（重要書類） ㊶警備法上の必要書類 ㊷契約書 ㊸契約期間・期間・苦付対応など ㊹警備業務に対する責任負担 ㊺警備計画書 ㊻巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㊼再委託承諾書 ㊽他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㊾契約後書面（重要書類） ㊿警備法上の必要書類	④身辺警護サービスカード ⑤「警備業務」の契約・事例説明 ⑥契約前書面（重要書類） ⑦警備法上の必要書類 ⑧契約書 ⑨警備業務に対する責任負担 ⑩警備計画書 ⑪巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ⑫再委託承諾書 他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ⑬契約後書面（重要書類） ⑭警備法上の必要書類 ⑮契約書 ⑯契約期間・期間・苦付対応など ⑰警備業務に対する責任負担 ⑱警備計画書 ⑲巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ⑳再委託承諾書 ㉑他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㉒契約後書面（重要書類） ㉓警備法上の必要書類 ㉔契約書 ㉕契約期間・期間・苦付対応など ㉖警備業務に対する責任負担 ㉗警備計画書 ㉘巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㉙再委託承諾書 ㉚他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㉛契約後書面（重要書類） ㉜警備法上の必要書類 ㉝契約書 ㉞契約期間・期間・苦付対応など ㉟警備業務に対する責任負担 ㊱警備計画書 ㊲巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㊳再委託承諾書 ㊴他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㊵契約後書面（重要書類） ㊶警備法上の必要書類 ㊷契約書 ㊸契約期間・期間・苦付対応など ㊹警備業務に対する責任負担 ㊺警備計画書 ㊻巡回・立哨など警備業務を明確に取決める ㊼再委託承諾書 ㊽他社に依頼する際の承認・元請企業が最終責任を負う ㊾契約後書面（重要書類） ㊿警備法上の必要書類
---	--	--	--

あった。このことから①店舗スタッフの接客で約680人が掌握できる、②制服店員に保安警備で約1800人が掌握できる、③約10000人の内、約20人は断念せず登庁。

万引犯人補足資料…日本保安提供（2020年8月～2025年3月）

男女比8482名（不明33名）女性11384名、男性4603名

【犯行時間帯】8482名分では12時が14・2％、16時が12・2％、11時が11・7％であった。

【世代別】ア7テ8名分析では70代が21・9％、80代が15・5％、90代が14・6％となっ

証など、保安監視カメラなどから、被害現場を調査し豊富な最新情報を得る。

【推奨顔認証システム】（推奨顔識別機能付きカメラシステム）検定制）

個々の情報保護法を順守し、安全な顔認証システムの提供と運用を推奨する。

能認証システムの性能が実際のシステムの使用する際、効果的に有効であるか否かの視点で、推奨の基準を定めおり、小売業向け顔認証、シスウェア認定基準と運用認定基準を審査する認定制度を推奨する。

【科学保安検定講習】JIEAは推奨顔認証システムを使って、業務的に安全に保安設備を運行し分析や会議報告を可能にするよう

と制服警備
防止システム協会

⑧制服警備… 出入口 立哨 熊出没時出入口 閉鎖 ⑨1「制服店内保安 警備」の効果的な活用	⑧制服警備… 犯行率 制、私服警備… 現行犯 逮捕 ⑧制服警備… 犯行率 制、私服警備… 現行犯 逮捕
⑦見せる警備・制服… 盗難被害を牽制・接客 防犯	⑦見せる警備・制服… 盗難被害を牽制・接客 防犯

④休館中と店内から離れた際にスタッフと連携

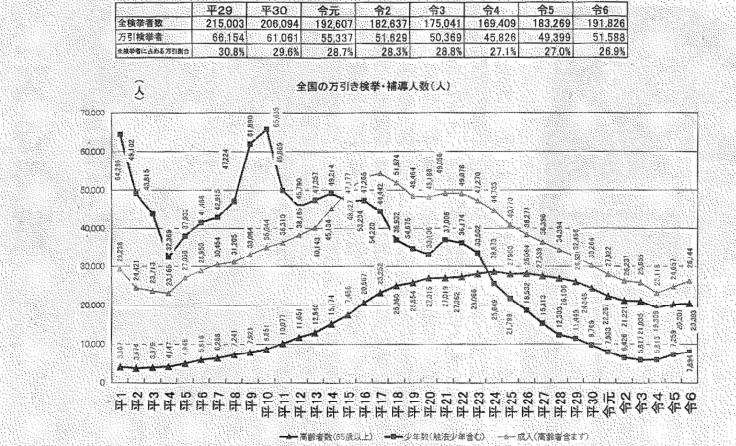
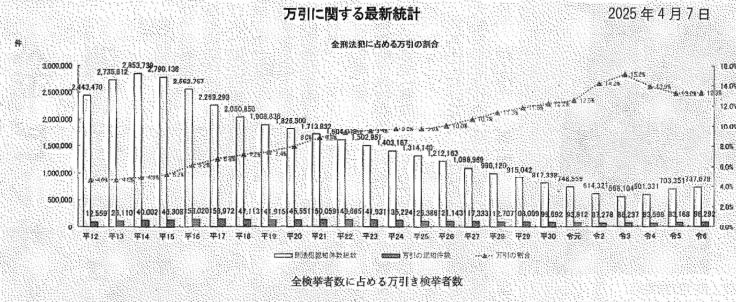
⑤同一商品複数点持ち移動は要警戒・牽制防犯、人気商品、販売可能商品も持ち移動も警戒

①交通誘導：車両の誘導警備・駐車場の誘導警備

②難路警備：人の誘導警備、店頭やレジなど人を誘導

③号：貴重品輸送現金や貴重品を輸送警

【万引被害統計1050人】 万引の調査結果では 1万人被疑者が万引を断 られた理由では店員から の声かけが62%、警 備員の配置が17%、防 犯カメラが2%、断念 犯カメラ利用（顔認識	資質・倫理観 防止システムの正しい 使い方を知識を身につ けて、その普及、拡大 を目指すもの。
--	--

[illegible]

JEAS 工業会
日本万引防止システム協会
認定個人情報保護団体

万引犯罪の推移では、5年間の総件数は増加している。警察庁が発表する、令和6年の犯罪情勢⁷⁾では、2024年は令和2、3、4年と、前年比、5%増。 万引検挙状況世帯⁸⁾ 国籍など 盗難被害品処分傾向 ⑧「犯罪発生要因」と防止対策 【ヤルサ・ビジネス方式】の弱点 ①動機：欲しい商品がある、手にとりたい。機会：人が見えない、盗める。 ③正当化：「たしかん商品がある、1つくらい分らない」 これが不正取引のトリック ライオン・米田、組織犯罪研究者、ドナルド・R・クレシー氏。 ④機会：企業家としての管理監督責任、⑤動機：正当化は価値的な	0.3%、12月×2022年5月16日、約13分、1万引件数、3件/1万引。 2167件、回収金額、7305万円、窃取平均、3371円。 【薬種梅の窃取平均金額】 デイスカントストアル946円、ドラッグストア6709円、アパレル・衣服6709円、ホームセンター640円、ショックセンター4672円、食品スーパー0円。	⑨「EAS」の役割 【進化する機器】の有効利用を「4つの検定制度」にて提案 【J-EAS検定制度】 工業系万引防止システム関連の販売・設備・保守・サポート、法務等々人すべての人に参加いたなき、万引	団体ベジの各冊子を理解してもらうことを目指す。 防犯情報、利用と防犯会議の基盤を学ぶことで、ロフト対策業務の水準向上と生産性向上の両立を主眼に置く。	【推薦製品認定のための検定制度】 ①コスト対策・パラダイス⁹⁾に対する心が生む新世界ノ協同防犯に、J-EASの理念に沿ったシステム・サービスを推薦製品とする程度。 ICタグやAIなどの進化に伴い、密着動線・調査調査、総合型NVR、多機能クラウドカメラ、補助防犯設備等共有、自動会計、出勤・入退室管理（顔認識）入室管理、配膳、ロボット配膳、見守り・介護補助などが実用化されたものを幅広く対象とする。
---	--	--	--	--